文部科学省「令和7年度補正予算 産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」採択事業

ウェルビーイング経営人材育成講座

多様な人材のウェルビーイングを高めながら
個人と組織の成長を推進する



静岡県高度専門人材育成プラットフォームSHAPE

国立大学法人
静岡大学

なぜ今、ウェルビーイング経営人材が必要なのか？

人手不足社会を乗り越え、個人と組織の持続的な成長を実現するために

静岡県内企業の6割以上で新卒採用計画が未充足となるなど、地域全体の「人手不足」は深刻さを増しています。
従来の労働環境や施策の延長線上では、人材の獲得も定着も困難な時代に入りました。
こうした局面において、今急速に関心を集めているのが「ウェルビーイング経営」です。
従業員一人ひとりの身体的・精神的・社会的な満たされた状態（ウェルビーイング）を中心に据え、誰もが本来持つ可能性や能力を発揮しながら働き続けられる環境をつくること。これは単なる福利厚生ではなく、個人と組織の持続的な成長を両立させる本質的な経営戦略に他なりません。

ウェルビーイング経営に取り組む企業は着実に増加しているものの、現場では多くの壁に直面しています。
社内理解の獲得と意識改革の壁、ウェルビーイングの定量的な測定・効果検証の困難さ、多様な個々に合わせた具体的な対応ノウハウの不足、さらに今後は、多国籍人材、高齢者、障がい者をはじめとする「職場の多様化（ダイバーシティ）」が加速します。多様な人材が真に力を発揮できる組織をつくるためには、自社の文脈に合わせた施策を具体的に立案・推進できる「専門人材」の存在が不可欠です。

ウェルビーイング経営人材育成講座が目指すもの

本プログラムは、多様な人材のウェルビーイングを高めながら、個人がのびのびと活躍でき、組織の成長を具体化できる「ウェルビーイング経営人材」の育成を目指します。
このような人材・組織が増えることで、一人でも多くの人が潜在的な力を発揮し、組織を超えた地域の新たな価値を生み出していける未来をつくります。









ウェルビーイング経営人材育成講座

「個人と組織の成長を推進するウェルビーイング経営」の力を持つ高度な経営人材育成を目指し、
自社の組織課題解決のプロジェクト化をサポートする伴走支援プログラムです。受講者同士で課題解決を議論する演習、専門家によるウェルビーイング経営に関連する講義を通じて、受講者の実践を支えます。

3つの特徴

01 「プロジェクト」を動かす、徹底的な伴走支援



講義を聴くだけの座学ではありません。受講者が解決したい課題を持ち込み、それをきっかけにウェルビーイング経営の実践に取り組みます。



受講者の実践を推進するために集合演習・講義を構成し、コーディネーター教員が実践をサポートいたします。

02 「なぜ学ぶのか」を問い直す、リスタンス（Re-stance）からスタート



「なぜ学ぶのか?このプログラムを通じてどのような状態を目指すのか?そのために自分は何を担うのか?」を振り返り、言語化を行います。そのプロセスを通じて、ゴールとなる組織イメージとご自身の役割を再認識した上で、本格的な学びをスタートします。

03 ラーニングコミュニティとして成長し合う仲間づくり



プログラム期間中、受講者同士がお互いのプロジェクトを高め合えるラーニングコミュニティとなるよう、専用SNSや集合演習で相互理解・交流を深めます。



修了後もアルムナイ（同窓生）としてコミュニティを運営し、修了生の実践を修了生同士で支え合い、高め合える環境を継続していきます。

Well-being

カリキュラム
講座スケジュール

みなさんの実践を、集合演習 × 講義でサポートするカリキュラムです

集合演習
（対面・オンラインのハイブリッド形式）

11月 2026年 11月18日（水） 13:00〜17:00

開講式
集合演習①：**リスタンスワークショップ**

概要 開講式では、受講に関するオリエンテーション、並びに受講者の皆様からのショートプレゼンを通じて、自社の現状や取り組むべきプロジェクトの方向性を発表いただきます。

リスタンスワークショップでは、「この講座をなぜ私は学ぶのか?私は何を目指しているのか?」という皆様自身の過去・現在・未来の視点からあり方を捉え直します。

12月 2026年 12月18日（金） 13:00〜16:00

集合演習②：
Virtual Board Meeting法を用いたブラッシュアップ

概要 Virtual Board Meeting（VBM：仮想役員会）という手法を用いて、グループ単位で受講者同士が互いの会社の役員という視点から、実践に対して共感的・批判的なフィードバックを通じ、ブラッシュアップを進めます。

1月 2027年 1月27日（水） 13:00〜16:00

集合演習③：
Virtual Board Meeting法を用いたブラッシュアップ

概要 Virtual Board Meeting（VBM：仮想役員会）という手法を用いて、グループ単位で受講者同士が互いの会社の役員という視点から、実践に対して共感的・批判的なフィードバックを通じ、ブラッシュアップを進めます。

2月 2027年 2月26日（金） 13:00〜17:00

集合演習④：
成果報告会

概要 期間中の実践と講義の学びを言語化し、これからどのような取り組みを進めていきたいのかをプレゼンテーションします。また、相互レビューを通じて、次年度以降の社内でのアクションを検討します。

社内での実践プロジェクト推進

フェーズ1



講義動画で推進・調査法を学びながら、社内で「何が起きているのか?なぜ起きているのか?何を活かせるのか?」を調べ、解決すべきポイントや社内の重要な資源を整理していきます。

フェーズ2



集合演習②でのブラッシュアップを踏まえ、継続して調査を行なったり、ウェルビーイング経営プロジェクトの企画検討を進めます。

フェーズ3



集合演習③での検討やコーディネーターと相談しながら、今後の組織の変化を構想しながら実践を進めます。

講義
（オンデマンド形式）

ウェルビーイング経営概論
ウェルビーイング経営の概念、潮流、実践について網羅的に理解をした上で、社内での実践の進め方について学びます。

プロジェクトマネジメントの基礎
コミュニティデザインの観点から、組織を分析し、効果的なプロジェクトの設計や推進方法を学びます。

個人の成長と回復を促すための心理学
組織における個人の成長や回復を促すための考え方や関わり方について、心理学の理論やアプローチを学びます。

地域共創による組織・人材開発
自社と地域社会との関係構築や共創が、個人・組織、そして地域社会にどのような変化をもたらすのかを実践事例から学びます。

初心者のためのリサーチ実務の基礎
リサーチ初心者のための問いの立て方や定性・定量調査を進める上での基本的な実務スキルについて学びます。

組織フィールドワークの基礎
フィールドワーカーという立場になって組織の状況を把握するための観察、ヒアリングの方法や分析の視点について学びます。

人生の意味とウェルビーイング
個人のウェルビーイングにとって人生の目的や意味が持つ役割を、哲学・倫理学的な観点から検討し、学びます。

人的資本経営の社内実践
企業における人材の価値を最大限引き出す人的資本経営について、実際の社内での実践と組織変革のプロセス事例から学びます。

講義動画は受講期間中何度も視聴可能です！

実践を続ける中で何度も見直しながら、
ウェルビーイング経営やプロジェクト推進の
基本的な知識、考え方を学びましょう。



多彩な講師陣がみなさんの実践と学びを支えます



静岡大学サステナビリティセンター 特任准教授

天野 浩史

専門は臨床社会学、コミュニティデザイン論、主体形成論。
大学入学と同時に環境保全NPOで活動を開始。大学4年時に中間支援組織を仲間たちと立ち上げ、以来、静岡県内のまちづくりの実践、企業・行政との研究・実践に従事。

- 担当講義 ： プロジェクトマネジメントの基礎
- 講義概要 ： コミュニティデザインのアプローチで組織を分析する視点、効果的なプロジェクトの企画・推進の方法を学びます。



一般財団法人静岡経済研究所 特任研究員

阪口 瀬理奈

関西出身、京都大学大学院卒。2013年より、都内シンクタンクに勤務しIT政策を支援。2018年、働きやすさと暮らしやすさを求めて静岡へ移住。静岡県のICT人材育成戦略の策定や事業の企画・運営を支援中。環境資本やネイチャーポジティブについて学ぶ連続講座「Shizuoka Re:vision Camp（リビキャン）」等のプロジェクトにも関わる。

- 担当講義 ： 初心者のためのリサーチ実務の基礎
- 講義概要 ： リサーチ初心者のための問いの立て方や定性・定量調査を進める上での基本的な実務スキルについて学びます。



静岡大学 人文社会科学部 教授

畠垣 智恵

名古屋大学大学院教育発達科学研究科・修士（臨床心理学）。
専門は臨床心理学。主に幼児期から成人の発達障害や心理的問題に関心を持ち、本人とその家族の支援と効果について研究。また、心の状態を理解する心理アセスメントについても研究。現在は専門職人材の心理的支援に関するプロジェクトを推進中。

- 担当講義 ： 個人の成長と回復を促すための心理学
- 講義概要 ： 組織における個人の成長や回復を促すための考え方や関わり方について、心理学の理論やアプローチを学びます。



静岡大学 グローバル共創科学部 教授

堂囿 俊彦

東京都立大学大学院人文社会学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。
専門は哲学・倫理学。人を尊重した医療の実現に向けて、「対話」をキーワードに研究・教育に取り組んできた。最近では、暮らしの豊かさが守られる地域づくりに関心を広げ、地域を歩き、人に会いながら、倫理学者として何ができるのか思案している。

- 担当講義 ： 人生の意味とウェルビーイング
- 講義概要 ： 個人のウェルビーイングにとって人生の目的や意味が持つ役割を、哲学・倫理学的な観点から検討し、学びます。



静岡大学 人文社会科学部 教授

荻野 達史

東京都立大学社会学研究科博士課程単位取得退学。修士（社会学）。人口動態と就労環境研究所所長。専門は社会学、青年期問題、メンタルヘルス。寝泊まり調査に明け暮れた青年期問題（ひきこもり）に関する研究とともに、職場のメンタルヘルスをめぐる社会学的研究や、静岡地域の企業と若年労働者についての調査研究を実施中。

- 担当講義 ： 組織フィールドワークの基礎
- 講義概要 ： フィールドワーカーという立場になって組織の状況を把握するための観察、ヒアリングの方法や分析の視点について学びます。



MS&ADインシュアランスグループホールディングス
サステナビリティ推進部

森本 真弘

MS&ADインターリスク総研株式会社リスクコンサルティング本部企画室部長、主席コンサルタントを経て、現職。自社にてウェルビーイング経営の実践に挑みながら、ウェルビーイング経営・健康経営に取り組む企業向けのアドバイス・情報提供に従事。BipojiLab設立メンバーも務める。日経Well-Being Initiativeにも MS&ADグループを代表して参加。健康経営エキスパートアドバイザー。健康マスター（エキスパート）。

- 担当講義 ： ウェルビーイング経営概論
- 講義概要 ： ウェルビーイング経営の概念、潮流、実践について網羅的に理解をした上で、社内での実践の進め方について学びます。



株式会社Gensen&Co 代表取締役

佐々木 梨華

東北大学公共政策大学院修了。人材開発・組織開発を専門とする会社、社会事業コーディネート組織、熱海での副業を経て起業。2022年に法政大学大学院政策創造研究科修了。持続可能な越境学習を目指し、大手企業の人材育成・越境学習と被越境者の学習の研究と実践に取り組む。

- 担当講義 ： 地域共創による組織・人材開発
- 講義概要 ： 自社と地域社会との関係構築や共創が、個人・組織、そして地域社会にどのような変化をもたらすのかを実践事例から学びます。



静岡鉄道株式会社 人事部長

清水 寛人

島田市出身。静岡鉄道株式会社　人事部長。不動産事業に10年ほど従事し、マンションの販売企画、CRM戦略、経営計画、ブランディング、CSV推進などを担当。社員の思いを実現する社内横断型プロジェクトを立案推進。

- 担当講義 ： 人的資本経営の社内実践
- 講義概要 ： 企業における人材の価値を最大限引き出す人的資本経営について、実際の社内での実践と組織変革のプロセス事例から学びます。

講座基本情報

- **開講方法**
  集合演習：対面・オンラインのハイブリッド／講義：オンデマンド動画
- **会場（対面参加の方）**
  静岡大学静岡キャンパス（静岡市駿河区大谷836）、JR静岡駅近く会議室

厚生労働省のページはこちらへ！

- **受講料**
  150,000円（税込）
  ※本講座は、企業の人材育成を支援する厚生労働省「人材開発支援助成金」の対象となる場合があります。
  中小企業の場合、受講料の45%～最大75%が経費助成される可能性がありますので、
  詳しくは、厚生労働省のページをご確認ください。
- **定員**　20名
- **募集期間**
  2026年9月18日（金）～11月4日（水）
- **開講期間**
  2026年11月18日（水）～2027年2月28日（日）
- **受講対象者**
  企業の経営者、経営幹部候補、経営企画部門担当者、人事部門担当者
  自身が所属する組織と個人の関係に対して問題意識を持ち、ウェルビーイングという観点から
  よりよい組織の変化を生み出したいと考えている方。
- **プログラム**
  1. 全4回のハイブリッド形式（対面・オンライン）での集合演習（受講者同士での課題討議）［合計 14 時間］
  2. 全8回のウェルビーイング経営に関するオンデマンド動画講義［合計 8 時間］
  3. 社内での調査、企画などの実践
  4. コーディネーター教員とのプロジェクト相談
  5. 受講者専用 LMS にて動画視聴、受講者同士の情報交換
- **修了要件**
  集合演習、講義での学びを活かし、ウェルビーイング経営を推進するプロジェクトの
  企画提案レポートを提出した方に修了証書を発行いたします。

受講申し込み・お問い合わせ

受講申し込みフォーム

右の二次元コード、もしくは静岡大学サステナビリティセンターホームページよりお申し込みください。受講料の納入方法については請求書払いとなりますので、お申し込みいただいたメールアドレスにご連絡いたします。お問い合わせは下記メールアドレス、もしくは電話番号までご連絡ください。

メールアドレス
su_reskill@adb.shizuoka.ac.jp

電話
054-238-4255（平日10:00～17:00）

静岡県高度専門人材育成プラットフォームSHAPE（シェイプ）について

静岡県高度専門人材育成プラットフォーム SHAPE（シェイプ）とは？

人口減少・人口流出に伴う働き手の減少や静岡県内の社会経済環境の変化を踏まえ、持続可能な地域社会の実現に貢献する高度なスキルを持った専門人材を育成するためのプラットフォームです。静岡大学が事務局となり、高等教育機関、経済界・産業界、地方公共団体、その他の関係機関が連携しながら、県内に必要となるリスキリングのための調査研究、専門的な知識や実践的スキルが学べる人材育成プログラムの開発・運営、修了生を中心としたネットワーク創出、高校生・大学生等次世代人材の育成に取り組みます。

国立大学法人 静岡大学　事務局：静岡大学学務部地域連携推進課　〒422-8529 静岡市駿河区大谷836